

医療最前線

特殊歯科総合治療部

助教 鮎瀬 てるみ

助教 野上 朋幸

准教授 吉田 治志

安心、安全な歯科治療 — 静脈内鎮静法を用いた歯科治療 —

歯を削る痛みや振動、注射針など尖った器具で不快な体験を持ち、歯科治療で強いストレスを感じる方は一般の歯科医院で治療が受けられないため虫歯や歯周病の治療が回避される傾向にあります。このような患者さんに対して負担を軽減しながら歯科治療を促進する一手段として、点滴を介して不安を和らげる薬剤を投与する「静脈内鎮静法」という方法があります。この方法は麻酔・生体管理室の協力のもと、事前診察で医学的な問題をチェックした後に行うことができます。

対象となるのは以下のような理由で歯科治療が困難な患者さんです。

1. 知的障害があり、診療に適応できない
2. 身体障害があり、開口を保つことや身体を静止させることができない
3. 治療器具が口内あるいは視野に入るだけで吐き気を催す
4. 治療行為や器具に対して不安や恐怖心が強い
5. 歯科治療を契機に容態が悪化する恐れがある疾患を有する

この方法を用いることで緊張を緩和した状態で治療を受けることができ、場合によっては受診回数を減らすことも可能です。また、原則として入院の必要はありません。

特殊歯科総合治療部では、歯科治療上のリスクを抱えている患者さんが安心して歯科治療を受けられる環境・体制づくりに努めています。

具体的には、

1 主治医との連携

何らかの疾患で病院に通院中の場合は、かかりつけの先生と治療に必要な情報交換を行います。特に当院外来通院または入院中の患者さんであれば主治医との連携はスムーズです。

2 看護師および 歯科衛生士のサポート

診療室入室から退室するまで、車椅子から診療台への移乗をはじめとして患者さんの状態によりスタッフと協力して介助に配慮しています。

3 環境設備

モニター機器を使用して持続的に血圧や脈拍を測定しながら体調管理を行い、必要に応じて酸素吸入を行う設備も整えています。平成24年2月に新外来へ移転し、個室も整備しましたので、プライバシーを保護してできる限り静かな環境を提供します。

治療についてのお問い合わせは特殊歯科総合治療部歯科外来(TEL:095-819-7739)までご連絡ください。

